

鉄 鋼 ニ ュ ー ズ

世界各国の鉄鋼生産

米鉄鋼業界誌“スチール”は最近号で、昨年の世界の鉄鋼生産は一昨年に比べ8%増加したとつぎのように報じている。

1. 一昨年の世界の鉄鋼生産は 319,592,000 t で、昨年の 295,886,701 t を上回ったが、従来の記録である1957年の 321,192,336 t にはおよばなかつた。

1. 自由世界の生産は 236,387,000 t で前年を 16,619,099 t 上回り、世界生産総量の 71% であつた。

1. 共産圏諸国は 93,205,000 t と前年を 7,086,200 t 方上回った。自由世界と共産圏国の生産比率は変化しなかつた。

1. 鉄鋼生産で1位から5位までの国とその生産量、前年比増減はつぎの通りである。(単位 t, カッコ内は前年比増減)

- (1) 米国 93,300,000 (8,045,115増)
- (2) ソ連 65,800,000 (4,953,000増)
- (3) 西独 (ザールを含む)
30,885,000 (1,956,200増)
- (4) 英国 20,500,000 (1,412,600減)
- (5) 日本 17,650,000 (4,291,200増)

(1. 6. 日本経済)

中共の鉄鋼生産

1月22日の北京放送によれば、中共国務院国家統計局は同日1959年の国民経済発展状況についてつぎの通り発表した。

1. 国家統計局の大まかな統計によれば、1959年の工業総生産額は2413億元(1元は約150円)と前年比31.1%増に達した。また工業総生産額は1630億元(同39.9%増)、農業総生産額は783億元(同16.7%増)に達した。

1. 昨年の工業の主要生産高はつぎの通りである。(カッコ内の数字は前年比増加率)

- | | |
|------------|----------------------|
| 鋼(土法鋼を含まず) | 1,335万 t (67%) |
| 鉄鉄 | 2,050 〃 (115%) |
| 石炭 | 34,780 〃 (29%) |
| 発電量 | 415億kWh (51%) (以下省略) |

(1. 23. 日本経済)

昨年のが国鉄鋼大幅に増産

日本鉄鋼連盟の調べによると、昨年の鉄鋼生産は粗鋼で約1,660万 t と一昨年に比べ37%増の大巾増産であつた。34年度の生産見込は約1,800万 t で、暦年の生産はこれより下回つたが、これは昨年1~3月の生産水準がいまよりかなり低かつたため、年度間ではほぼ見込み通りの生産に達するとみられる。昨年の実績はつぎの通り、(単位 1,000 t, 前年比増%)

	34年	33年	前年比増
鉄	9,445	7,393	27.9
粗	16,615	12,118	37.1
普通鋼熱延鋼材	11,637	8,763	32.8
特殊鋼熱延鋼材	826	507	63.0

(1. 14. 日本経済)

富士鉄室蘭 200 t 平炉完成

富士鉄室蘭製鉄所では、第2次設備合理化計画にもとずき工費7.7億円で昨年2月から200 t 平炉を建設中だつたが、この程完成した。10日初出鋼の予定で、これにより鉄鋼月産量は10.5万 t とこれまでより2.5万 t ふえる。また工費20億円で建設中の第2分塊圧延機は2月1日試圧を行ない、同11日から操業を開始する予定。

(1. 15. 日本政経調査報)

八幡製鉄所の設備計画

八幡製鉄所製鉄所の建設工事は、35年に入つて本格化することになるが、このほど当初計画の一部を変更し新たに38年度までにストリップミル、1800 t 第2高炉建設計画を追加、薄鋼板部門に進出することになった。これは薄板を関西、中部という消費市場に近い地区で生産し需要家サービスならびに販売の強化をねらつたものである。それによるとホットストリップミルは巾2mで36年10月に着工して38年9月に完成し工費は約80億円、コールドストリップミルは38年10月に着工して40年3月に完成、工費は約55億円、これで板類の生産能力は年間120~130万 t の規模になる予定である。なお当初計画は第1高炉が38年9月に完成するほかつぎの通りとなつてゐる。

- | | |
|----------------|--------------------|
| ○第1号高炉 1800 t | 38.9 完成 (工費 71 億円) |
| ○第2号高炉 1800 t | (同 71 億円) |
| ○焼結工場 | 39.3 (同 28 億円) |
| ○80 t 転炉(1基)工場 | 38.9 (同 50 億円) |
| ○80 t 転炉工場増強 | 40.3 (同 31 億円) |
| ○分塊工場 | 38.9 (同 55 億円) |
| ○分塊工場増強 | 40.9 (同 14 億円) |
| ○大型形鋼工場 | 36.4 (同 70 億円) |

これにともない付帯工事として、

- | | |
|--------|----------------|
| ○発電所 | 38.9 (同 20 億円) |
| ○発電所増強 | 40.3 (同 14 億円) |
| ○岸壁増強 | 40.3 (同 16 億円) |
| ○雑工事 | (同 110 億円) |
| ◎工事費合計 | 645 億円 |

(1. 9. 日刊工業)

久保田鉄工鑄鉄管工場新設

久保田鉄工では鑄鉄管の需要増に対処して京葉地帯(船橋)に鑄鉄管工場を新設することになった。同社は従来東京に隅田川鑄鉄管工場をもつていたが、敷地が狭く(約4万m²)増設の余地が少なかつたことと、今後の関東地区での需要増を見越して新設に踏切つたもの。新工場の設置場所は千葉県船橋市の埋立地約16.5万m²を購入、今月末までに製作品種、生産規模などを決め、4月ごろには着工、年内には本格操業に入る計画である。いまのところインゴットケース、異径管、ストレート鑄鉄管のいずれを製作するか未定であるが、いずれにしても鑄鉄管のモデル工場にする予定で、さし当りの必要資金は約10億円を見込んでいる。なお敷地買収費は約3.5億円。

(1. 24. 日刊工業)